

第3期SSHでの研究開発課題

6年間を貫く「高度な理数系カリキュラム」と「課題研究」の計画・実施及びその評価・改善を行う「小石川グローバルサイエンスシステム」を通じた科学的人材の育成

研究開発の目的・目標

(1) 目的

国際社会でリーダーとして活躍できる科学的人材の育成を目指して開発する「小石川グローバルサイエンスシステム」を実践し、その効果を検証することを目的とする。具体的には、6年間を貫く「高度な理数系カリキュラム」と「課題研究」の実践及びその「評価」を通して検証する。

(2) 目標

第1期、第2期の成果の検証を基に、科学的人材に不可欠な資質・能力として抽出した3つの力、すなわち「課題発見力」、「創造的思考力」、「継続的实践力」の育成に、「小石川グローバルシステム」がどのように寄与するか検証することを目標とする。



課題発見力

様々な情報や出来事を科学的な見方・考え方で受け止め、冷静な考察を通して課題を発見し、その課題を解決するために主体的に計画を立てる力



創造的思考力

グローバルかつ高度な科学的視点から課題を考察し、新たな価値を生み出すためのより良い解決方法を考える高次の思考力



継続的实践力

困難にぶつかっても途中であきらめず、自己の実践をふり返って計画を改善しながら、目標達成に向けて粘り強く果敢に実践していく力

研究開発の概略

本研究では、SSH事業の成果を検証できた第1期、第2期、及び第2期を継続・改善して研究開発を推進してきた経過措置期間における実践をさらに充実・発展させて、大学や企業、研究施設等との連携をいっそう強めて、以下の研究開発を行う。

- ① 6年間を貫く高度な理数系カリキュラムのさらなる改善
- ② 6年間を貫く課題研究のさらなる改善
- ③ 科学的思考力をもったグローバルリーダーを育成するプログラムのさらなる改善
- ④ 大学との連携や接続のさらなる強化
- ⑤ 教員の指導力のさらなる向上

これらを通して、国際社会でリーダーとして活躍できる科学的人材育成のモデルを構想する。

